

みねはま



峰浜小学校報 No.52
平成30年11月22日
文責:松田

峰浜小HPにカラー版を掲載しています
<http://www.shirakami.or.jp/~minesy/>

ICTを使った次世代の授業を公開 県内外から教育関係者が参集



【タブレットPCで対話的に学ぶ6年生】

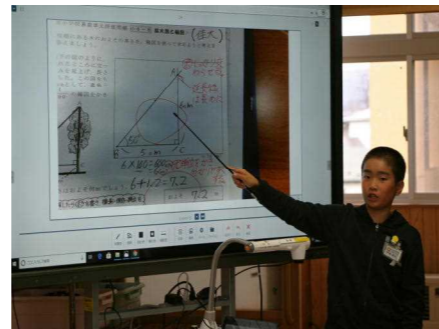
11月15日(木)に、文部科学省から委嘱された「次世代の教育情報化推進事業」に関する公開授業を行いました。本校と八森小で行いました。本校では、2年生の生活科、4年生の社会科、6年生の算数科の授業を公開しました。公開授業には、東京都や熊本県、県内各地から教諭や教育関係者が参集しました。本校の子どもたちがタブレットPCを使って友達と対話的に学ぶ姿や大型電子黒板を使って全体で意見交流する姿に、参観者は感心しきりでした。八峰町が整えてくれたICT環境を今後も有効に活用し、子どもたちの学びを深めていきたいと思ひます。



【自分が撮影した写真を使って発表する2年生】



【タブレットPCに自分の考えを書き込む4年生】



【大型電子黒板を使って自分の解き方を説明する6年生】

文化庁巡回公演「ごんきつね」を鑑賞 「文化芸術による子どもの育成事業」を活用

11月12日(月)に、邦楽器と音読による「ごんぎつね」の芸術鑑賞会を行いました。これは、文化庁の事業に応募して行ったものです。6年生が、音楽家の指導を受け合唱で共演しました。保護者の方25名も、一緒に鑑賞しました。



【ジブリの演奏で子どもたちを引きつけた日本音楽集団】



【6年生 合唱で共演です】



【6年生の一生懸命の合唱に聴き入る子どもたち】

JAグランママから6年生は蕎麦、5年生はきりたんぽを習う



【グランママシスターズと一緒に】

5年生は、たんぽを手作りするところから始めて、鍋を作りました。今後、稲作を指導してくださったJA青年部の方へのおもてなし会に活かしていきます。

JA秋田やまもと食農体験教室を活用し、10月31日(水)には6年生が蕎麦打ち体験を、11月8日(木)には5年生がきりたんぽ鍋体験をしました。

6年生は、自分たちで育てた蕎麦粉も使って石川蕎麦の手打ちを行い、おいしくいただきました。



【蕎麦の手打ちに挑戦した6年生】



【たんぽづくりに挑戦した5年生】

子ども園と楽しく交流しました



【学校を案内する1年生】

11月2日(金)に、沢目子ども園と塙川子ども園の年長さんを招待して、1年生が交流会を行いました。生活科の学習で秋のおもちゃ作り、学校ポイントラリーの看板作りを行ってきました。当日1年生は、これまでの学習の成果を活かして堂々と年長さんをリードできました。秋のおもちゃの大会でも、峰浜小のはっぴを着て元気にお客さん呼び込みました。年長さんの喜ぶ姿を見て、大満足の1年生でした。



【松ぼっくり釣りゲームは大人気でした】



【元気な声で自作のおもちゃをPR】



【元気な呼び声に誘われる年長さんです】

赤い羽根共同募金

児童会のボランティア委員会が全校児童に赤い羽根共同募金への協力を呼びかけ、総額18,481円が集まりました。11月6日(火)、町社会福祉協議会の方に、ボランティア委員会の代表2名が集めた募金を手渡しました。貴重な募金は、町をよりよくするために使わせてもらうと感謝の意が伝えられました。

